

【シャシャンボ(小小坊)とは】

庭木図鑑 植木ペディアの記述

- 関東南部から九州までを原産とするブルーベリーの仲間で「日本のブルーベリー」あるいは「ワイルドブルーベリー」等と称して親しまれる。
- 晩秋になると黒紫色に熟す実は「サシブ」と呼ばれる。直径5～6mm程度で甘酸っぱく、生食できる。ブルーベリー同様、表面には粉白を帯びる。
- 小さな果実が並んで実る様を「小小坊」と表現して名付けられた。
- 樹形が整いにくく、本来は庭木とするような木ではないが、初夏に咲く壺状の花を觀賞したり、落葉性のブルーベリーの代用として庭植えされるようになった。関東地方ではあまり馴染みがないものの、関西地方では普通に見られる。
- 樹齢を重ねると木肌がツルツルになり、サルスベリに似る。

以下の写真添付に誤りがありました。御免なさい

R3.6.18撮影

普門神田神社の仮本殿前



葉裏主脈上の小さな突起状の刺を確認しました

シャシャンボの花と紹介していましたが
神田神社鳥居付近の**榊(サカキ)の花**でした。
お詫びして訂正いたします**(陳謝)**

同じ壺状の花ですが
シャシャンボの花は
より長い壺状の花です

榊も実を付けています



神田神社の シャシャンボの花と実(時系列)

